

平成17年10月3日

サキグロタマツメタの卵囊に関する情報

## 『サキグロの産卵本格化する』

水産研究開発センター

仙台地方振興事務所水産漁港部

9月30日、東名の潮干狩り場でサキグロタマツメタの卵囊が発見されたことをお知らせしましたが、本日、桂島の潮干狩り場でも卵囊が大量に発見されました。あまり潮が引いていませんでしたが、徒手歩行採捕で一人10分間で104個(1011.1g)、船上からの網すくい(2名)で同じく10分で30個(310.9g)でした。なお、多いところでは、1㎡当たり4～5個も発見されています。

卵囊内では前回(9月3日)より発生が進んで既に幼生に发育しているものもありますが、まだ、卵割前の受精卵も見られることから、現在でも産卵が続いていることがわかります。

なお、今後も産卵は続くと思いますので、孵出が始まる10月中旬までには駆除をするようにして下さい。本日のように十分干出しない場合でも、胴長を着用すればかなり効率的に駆除できますし、小型の船上からも玉網ですくえますので時機を逸さないよう注意して下さい。卵囊1個からは数百から数千個の稚貝が孵出し、直後からアサリの稚貝を捕食します。



▲ 10月3日10時30分 桂島潮干狩り場  
徒歩採捕(一人10分間; 104個)  
直径51～99mm